

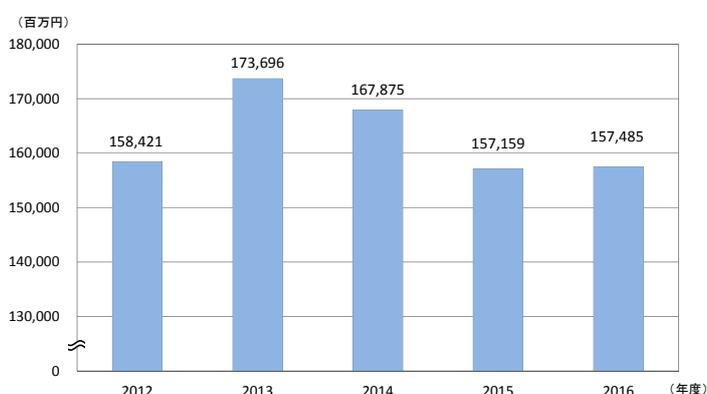
特別企画： 中国地方 私立大学法人の経営実態調査

2016年度の年収入高合計、3年ぶりに増加 ～「黒字経営」が53.6%を占める～

はじめに

文部科学省によると、私立大学で入学定員充足率が100%以上の大学数の割合は、1996年度には96.2%を占めたが、その後は少子化が進行して2017年度には60.6%まで大きく落ち込んでいる。私立大学では、収入の77%（※1）を学生納付金が占め、国立大学の12%を大きく上回っており、学生数の増減が収入高や損益に大きな影響を及ぼす。進む少子化により

■中国地方 私立大学 28 法人の年収入高合計の推移



市場の縮小が続く中国地方の私立大学の経営実態はどのようなのだろうか。

そこで、帝国データバンクでは私立大学を運営する全国の大学法人544法人（※2）（短期大学法人を除く）のうち、企業概要データベース「COSMOS2」（147万社収録）に収録されている大学法人498法人（短期大学法人を除く）を抽出した。そのデータをもとに広島支店で、中国地方にある私立大学28法人の状況について集計・分析した。

（※1）文部科学省『高等教育の将来構想に関する基礎データ』（平成29年4月11日）

（※2）日本私立学校振興・共済事業団 私立振興事業本部（助成業務）「学校法人情報検索システム」

調査結果（要旨）

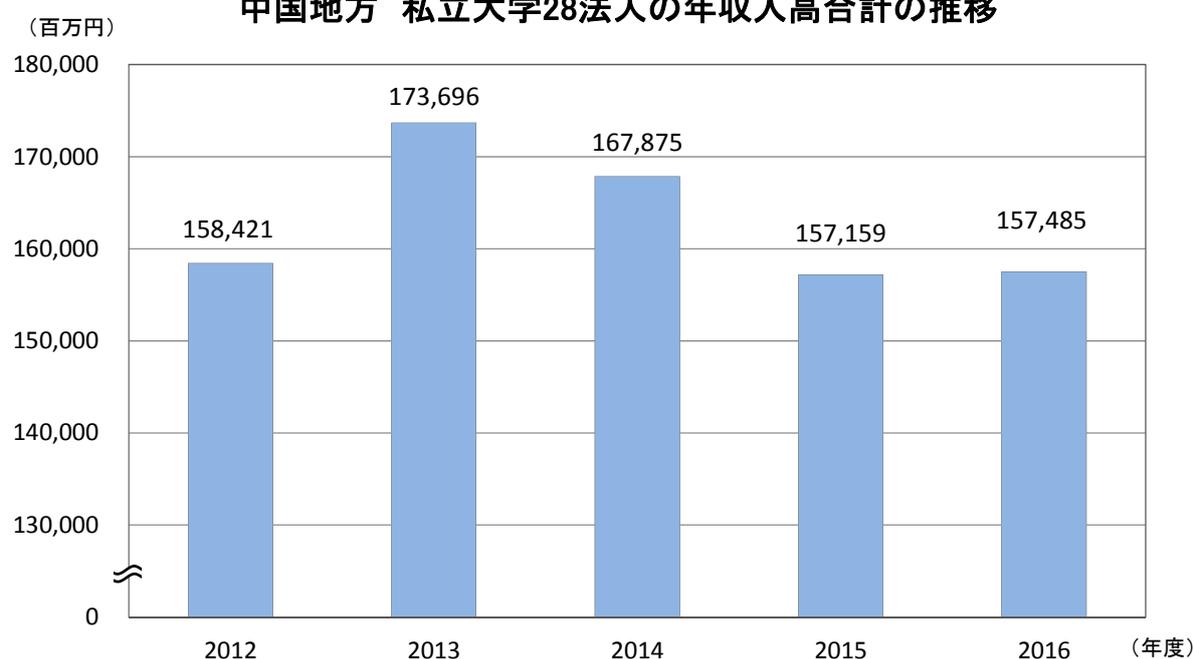
1. 2016年度の年収入高合計は1574億8500万円。前年度を0.2%上回り、3年ぶりに上昇
2. 年収入高規模別、『10億円～50億円未満』が67.9%
3. 年収入高動向、『減収』が5割超
4. 損益動向、『黒字』が5割超
5. 資産の総額別、『100億円～500億円未満』が半数近くに
6. 業歴別、『50年～100年未満』『100年以上』が約4割
7. 従業員数別、『100人～1000人未満』が78.6%
8. 中国5県別、『広島県』『岡山県』がそれぞれ11法人

1. 年収入高合計の推移：3年ぶりに上昇

中国地方にある私立大学を運営する28法人の2016年度の年収入高合計は1574億8500万円で、前年度を0.2%上回った。

2012～2016年度までの過去5年間における年収入高合計の推移をみると、2013年度（1736億9600万円、前年度比9.6%増）以降、2年連続で低下したが、2016年度は3年ぶりに前年度を上回った。

中国地方 私立大学28法人の年収入高合計の推移



(百万円)

	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
年収入高合計	158,421	173,696	167,875	157,159	157,485
前年度比(%)	—	9.6	▲ 3.4	▲ 6.4	0.2

2. 年収入高規模別：『10億円～50億円未満』が67.9%

中国地方にある私立大学を運営する28法人について年収入高規模別にみると、『10億円～50億円未満』が19法人（構成比67.9%）を占めて最も多かった。次いで、『50億円～100億円未満』が5法人（17.9%）、『1億円～10億円未満』が2法人（7.1%）、『100億円～500億円未満』

年収入高規模	法人数	構成比(%)
1億円～10億円未満	2	7.1
10億円～50億円未満	19	67.9
50億円～100億円未満	5	17.9
100億円～500億円未満	1	3.6
500億円～1000億円未満	1	3.6
合計	28	100.0

『500億円～1000億円未満』が各1法人（3.6%）で続いた。

3. 年収入高動向：『減収』が5割超

中国地方にある私立大学を運営する28法人について、2016年度の年収入高の増減をみると、『減収』が15法人（構成比53.6%）、『増収』が12法人（42.9%）となり、『横ばい』が1法人（3.6%）だった。

年収入高の推移をみると、2014年度～2016年度まで「3期連続増収」となったのは4法人（構成比14.3%）だった。2015年度と2016年度の「2期連続増収」となったのは1法人（3.6%）だった。一方で、「3期連続減収」となったのは3法人（10.7%）で、「2期連続減収」となったのは7法人（25.0%）だった。

増減収	法人数	構成比(%)
増収	12	42.9
横ばい	1	3.6
減収	15	53.6
合計	28	100.0

増減収動向	法人数	構成比(%)
3期連続増収	4	14.3
2期連続増収	1	3.6
3期連続減収	3	10.7
2期連続減収	7	25.0
その他	13	46.4
合計	28	100.0

4. 損益動向：『黒字』が5割超

中国地方にある私立大学を運営する28法人について、2016年度決算の損益状況（税引き後）をみると、『黒字』が15法人（構成比53.6%）、『赤字』が11法人（39.3%）となり、『ゼロ』が2法人（7.1%）だった。

損益の推移をみると、2014年度～2016年度まで「3期連続黒字」となったのは11法人（構成比39.3%）だった。2015年度と2016年度の「2期連続黒字」となったのは3法人（10.7%）だった。一方で、「3期連続赤字」となったのは6法人（21.4%）で、「2期連続赤字」となったのは2法人（7.1%）だった。

損益	法人数	構成比(%)
黒字	15	53.6
赤字	11	39.3
ゼロ	2	7.1
合計	28	100.0

損益動向	法人数	構成比(%)
3期連続黒字	11	39.3
2期連続黒字	3	10.7
3期連続赤字	6	21.4
2期連続赤字	2	7.1
その他	6	21.4
合計	28	100.0

5. 資産の総額別：『100億円～500億円未満』が半数近くに

中国地方にある私立大学を運営する28法人について資産の総額別にみると、『100億円～500億円未満』が13法人（構成比46.4%）で最も多く、半数近くを占めた。次いで、『100億円未満』が11法人（39.3%）、『500億円～1000億円未満』が2法人（7.1%）、『1000億円以上』が1法人（3.6%）が続いた。

資産の総額	法人数	構成比(%)
100億円未満	11	39.3
100億円～500億円未満	13	46.4
500億円～1000億円未満	2	7.1
1000億円以上	1	3.6
合計	28	100.0

6. 業歴別：『50年～100年未満』『100年以上』が約4割

中国地方にある私立大学を運営する28法人について業歴別にみると、『50年～100年未満』『100年以上』がそれぞれ11法人（構成比39.3%）で最も多かった。次いで、『30年～50年未満』が6法人（21.4%）で続き、『30年未満』はなかった。

業歴	法人数	構成比(%)
30年未満	0	0.0
30年～50年未満	6	21.4
50年～100年未満	11	39.3
100年以上	11	39.3
合計	28	100.0

7. 従業員数別：『100人～1000人未満』が78.6%

中国地方にある私立大学を運営する28法人について従業員数別（役員、パート・アルバイトを除く）にみると、『100人～1000人未満』が22法人（構成比78.6%）で最も多かった。次いで、『10人～100人未満』が4法人（14.3%）、『1000人以上』が2法人（7.1%）で続いた。

従業員数	法人数	構成比(%)
10人未満	0	0.0
10人～100人未満	4	14.3
100人～1000人未満	22	78.6
1000人以上	2	7.1
合計	28	100.0

8. 中国5県別：『広島県』『岡山県』がそれぞれ11法人

中国地方にある私立大学を運営する28法人について中国5県別にみると、『広島県』『岡山県』がそれぞれ11法人（構成比39.3%）で最も多かった。次いで、『山口県』が5法人（17.9%）、『鳥取県』が1法人（3.6%）で続いた。なお、島根県には私立大学がないため、集計の対象外。

中国5県	法人数	構成比(%)
広島県	11	39.3
岡山県	11	39.3
山口県	5	17.9
鳥取県	1	3.6
島根県	0	0.0
合計	28	100.0

まとめ

中国地方にある私立大学を運営する28法人の2016年度の年収高合計は、3年ぶりに前年度をわずかながら上回った。文部科学省によると、18歳人口は1992年の205万人をピークにその後は減少基調で推移し、2031年には100万人を割り込むと予想されている。すでに定員割れの私立大学は全国で約39.4%にのぼり、今後さらに増えていくことが懸念されている。学生数の減少に伴い、運営規模の縮小のみならず、統合や再編、破綻など淘汰される私立大学が出てくる可能性もあり、今後も動向が注目される。

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。
当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。報道目的以外の利用につきましては、著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。

【問い合わせ先】 株式会社帝国データバンク 広島支店情報部 担当：藤井・松岡
TEL：082-247-5930 FAX：082-249-1242